

令和元年 11 月 11 日

関係機関長および関係各位

京都大学自然科学域防災学系長

(防災研究所長)

橋本 学

教員の公募について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当研究所は「災害に関する学理の研究及び防災に関する総合研究」を目的とする全国共同利用の研究所であり、5 研究部門・6 附属研究センターによって構成されています。平成 22 年度より、「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」に認定され、より広範な共同利用・共同研究を推進しております。

このたび、下記の通り教員を公募することになりました。つきましては、ご多用のところ、まことに恐縮ではございますが、関係各位の皆様方にご連絡いただくとともに、適任者の応募についてよろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

なお、京都大学では、大学改革の一環として平成 28 年度より学域・学系制度を導入しました。この制度では、教員は教員組織としての学系に所属し、従来の部局は教育研究組織と位置づけられています。

敬具

記

1. **職 種**： 教授
2. **募集人員**： 1 名
3. **所 属**： 京都大学自然科学域防災学系
4. **勤務場所**： 京都大学防災研究所
地震・火山研究グループ 地震防災研究部門 地震テクトニクス研究分野
(所在地：宇治市五ヶ庄)
5. **職務内容**：
地殻・上部マントルにおける地質の不均質構造や流体分布の推定に関する研究を地球物理学、特に地球電磁気学における手法に基づき実施する。こうした研究により地震を引き起こす断層における応力蓄積過程や火山噴火につながるマグマの動きを理解することに資する。また、他の大学と協同して行う大規模な観測や研究プロジェクトをリードすることも期待される。さらに、京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻の教育を担当する予定である。

6. **資格等**： 博士の学位を有すること。
国籍は問わないが、日常的に日本語が使えること。
7. **採用予定日**： 令和2年4月1日（または令和2年4月1日以降可能な限り早い時期）
8. **任期**： なし
9. **試用期間**： あり（6ヶ月）
10. **勤務形態**： 専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当）
休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日及び夏季休業日
11. **給与・手当等**： 本学支給基準に基づき支給
12. **社会保険**： 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入
13. **応募方法**： 次の(1)～(6)各一式
- (1) 履歴書
 - (2) 研究業績一覧（査読付き論文とその他の論文、著書、解説、報告などに分けしたもの）
 - (3) 主要論文別刷（コピー可）5編
 - (4) 研究業績の概要（A4用紙2枚以内）
 - (5) 今後の研究計画及び抱負（A4用紙2枚以内（説明図の利用可）。これまでの実績を踏まえてどのような研究を行うか、応募者の考えを示すこと）
 - (6) 推薦書（または、応募者について意見を伺える方2名の氏名と連絡先）
14. **書類提出先**：
〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付
地震防災研究部門 地震テクニクス研究分野 教授候補者選考調査委員会 宛
（封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書き、郵送の場合には書留にすること）
15. **応募締切**： 令和2年1月14日（火）【必着】
16. **選考方法**： 書類選考のうえ、必要に応じて面接を行います。面接等の詳細は、別途連絡します。
17. **問い合わせ先**：
〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付
地震防災研究部門 地震テクニクス研究分野 教授候補者選考調査委員会 宛
e-mail: apply_staff[at]dpri.kyoto-u.ac.jp （‘at’を@に置き換えてください）
（封書あるいは電子メールに限ります）

18. **その他**：

応募書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません。

なお、応募書類はお返ししませんので、あらかじめご了承ください。

京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待しています。本学における男女共同参画推進施策の一環として、「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」第8条の規定に基づき、選考において評価が同等である場合は、女性を優先して採用します。

10. および11. の詳細は下記 web ページ「国立大学法人京都大学就業規則一覧」をご覧ください。<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/organization/kisoku/kichiran.html>

地震防災研究部門の概要

1. 研究目的及び研究内容の概要

地震災害の長期的予防を命題とし、地球物理学的な各種手法を用いて、地震発生ポテンシャルの長期予測に関する基礎研究を進展させるとともに、長期予測の高度化をはかる。さらに、これら長期予測研究を受けて、地震発生時にも人命保全と生活の質を確保し、また物的被害を最小限にとどめるための建設技術の高度化に関わる研究を実施する。なおこれらの研究の実施においては、地震予知研究センター、火山活動研究センター、地震災害研究部門との密接な連携をはかっている。

地震発生機構研究分野

地震の震源についての理解を深め、地震被害の推定や地震発生予測に貢献するため、地震波形、地殻変動などの地球物理学的データ解析により、地震発生機構にかかわる基礎研究を推進している。

地震テクトニクス研究分野

地震災害の軽減に寄与することを指向した長期予測の視点から、沈み込むプレート境界周辺や内陸部での地殻構造の不均質性解明など、地震発生準備過程解明に資する基礎研究を推進している。

耐震機構研究分野

地震発生時にも人命保全と生活の質を確保し、また物的被害を最小限にとどめるための建設技術の高度化を指向し、既存建物の地震時脆弱性評価法、耐震改修技術、安全性・機能性向上に資する新材料や構法開発等を基軸とした研究を推進している。

2. 現在の教員構成 (2019年11月11日現在)

	【教授】	【准教授】	【助教】
地震発生機構研究分野	Mori, James	大見 士朗	山田 真澄
地震テクトニクス研究分野	大志万直人* (今回公募)	吉村 令慧	(空席)
耐震機構研究分野	池田 芳樹	倉田 真宏	

*令和2年3月31日定年退職予定

共同利用・共同研究拠点について

防災研究所は、大学の枠を超えて、大型の研究設備や大量の資料・データ等を全国の研究者が利用し、共同研究を行う全国共同利用研究所として、共同利用や共同研究を推進してきました。平成20年7月に創設された、文部科学大臣による「共同利用・共同研究拠点」の認定制度により、平成22年度からは、新たに「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として共同利用・共同研究を推進しています。

京都大学防災研究所の詳細は下記のホームページをご参照下さい。

<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>

**Professor Position in the Research Section of Seismotectonics
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University**

November 11th, 2019

The Disaster Prevention Research Institute (DPRI), Kyoto University invites applications for a permanent Professor position.

Location: Research Division of Earthquake Hazards, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011, Japan.

Job description and required qualifications: The appointed professor will conduct investigations on inhomogeneities in the Earth's crust and upper mantle related to geology and fluids, using geophysical methods, especially modern techniques in geoelectromagnetism. These studies will contribute to understanding of stress accumulation on faults leading to earthquakes and magma movements leading to volcanic eruptions.

He/she will be expected to lead large observation campaigns and research projects that are carried out cooperatively with other universities. He/she will also have educational responsibilities in the Division of Earth and Planetary Sciences, Graduate School of Science, Kyoto University. He/she should have a Ph.D. or its equivalent and be proficient in Japanese.

Anticipated start date: April 1st, 2020 or as soon as possible after April 1st, 2020

Probation period: 6 months

Working time: Discretionary labor system (standard working hours: 7 hours 45 minutes per day, 38 hours 45 minutes per week).

Days off: Saturdays, Sundays, public holidays, Year-end and New Year holidays, University Foundation Day, and summer vacation.

Salary and Allowance: To be determined in accordance with the existing employment regulations of Kyoto University.

Social insurance: (1) National Public Service Mutual Aid Associations, (2) Employee's pension insurance, (3) Unemployment insurance, and (4) Worker's accident insurance

Applicants should prepare the following materials:

(1) Curriculum vitae

- (2) List of publications (divided clearly into refereed journal papers and others)
- (3) Copies of five relevant papers
- (4) Brief summary of research and related contributions (up to two A4 pages)
- (5) Statement of research plans (up to two A4 pages, including figures)
- (6) Recommendation letters or names and contact information of two references (include addresses, fax numbers, and e-mail addresses)

The complete application package must arrive by the deadline of January 14th, 2020 (JST) at the following address:

Selection Committee for Seismotectonics Professor
Administrative Office, Uji Campus,
Kyoto University
Gokasho,Uji, Kyoto 611-0011 JAPAN

For inquiries, send e-mail to apply_staff 'at' dpri.kyoto-u.ac.jp (replace 'at' with @)

For more information about DPRI, see <http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/en/>.

The university will not return your application documents.

Personal information contained in the application documents will be used solely for the purpose of screening applicants, and never for any other purposes.

The Disaster Prevention Research Institute is building a culturally diverse faculty and strongly encourages applications regardless of gender or disability.

The university is an Equal Opportunity, Affirmative Action Employer.